

芝久保小学校 研究だより

令和7年10月8日(水) No.1 西東京市立芝久保小学校 研究主任

清秋の候いかがお過ごしでしょうか。保護者の皆様には、なお一層健やかにお過ごしのことと存じます。
今年度も、全教職員で校内研究の充実を図るための、研修・研鑽を行っています。昨年度は「自分の考えをもつことができる児童の育成」を研究主題とし、年間3回の研究授業を行いました。今年度は、昨年の課題を踏まえた上で、「自分の考えを深めること」に焦点を置き、児童の資質・能力の向上を目指していきます。

研究構想図

西東京市立芝久保小学校教育目標

自他の人権を尊重し、よりよい国際社会を築くための資質や能力の伸長を図る。自ら学び、自ら考え、元気で心豊かな思いやりのある児童の育成を目指す。

粘り強く考える子 ◎仲良くする子 元気に活動する子

『令和の日本型学校教育』の構築を目指して(答申)」

一人一人の児童生徒が自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが必要である。

学習指導要領総則(平成29年告示)「主体的・対話的な深い学びの実現にむけた授業改善」

児童が自ら「見方・考え方」を働かせながら知識を活用し、新たな知識を習得することができる授業を展開していく。児童の資質・能力を育成していくことを目指す。

昨年度の児童の姿

- ・令和6年度の研究を通して、児童が自分の考えをもつことができるようになったと考えられる。
- ・教科・領域を絞らなかつたため、自分の考えを深めるという点においては、系統立てられた考察や、教科特性を踏まえた考えの認識の深まりを促すには至っていない。

**自分の考えを深めることができる児童の育成
～国語科、体育科における指導の充実～**

研究仮説

「教科の特性を十分に理解し、工夫した指導を行うことで、児童一人一人が考えを深めることができ、主体的に学習に取り組むことができるのではないか。」

研究内容 ●基本となる考え ◎特に指導案で重視したい考え

●「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」を明確にし、児童が「見方・考え方」を働かせながら考えを深めることができる授業づくりを展開していく。

◎考えを深めることができる協働的な学びの手立て

◎学習過程や課題設定の工夫

検証方法

- ・分科会ごとに、考えを深めている児童の姿を研究し定義付けをする。
- ・授業研究を通して、検証および効果的な指導方法を示す。
- ・児童に研究主題に迫るための意識調査を通して、年間の変容や関連を見る。

9月24日に1回目の授業研究を行いました。その様子をまとめましたのでご覧ください。

国語科 書くこと分科会

《書くこと分科会 目指す児童像》

- 【低学年】 読み手への伝わりやすさを意識して、既習を活かして自分の考えを書く児童
- 【中学年】 相手や目的を意識して、既習を活かして自分の考えを書く児童
- 【高学年】 目的や意図を明確にもち、既習を活かして自分の考えを書く児童

【課題設定の工夫】

『筆者の工夫をとらえて読み、それを活かして「推し」のみりよくを書く』という単元を貫く学習課題を設定しました。単元前半の「『鳥獣戯画』を読む」での学習を受け、そこで学んだ表現の工夫を活用し、「推し」の魅力を効果的に伝えられるように指導しました。

【モデル文の提示】

単元のゴールイメージをもたせるために、事前にモデル文を作成し、見通しをもって学習に取り組むことができるようにしました。

【協働的な学びの充実】

「児童が互いに協力し合い、共に学びを深めていく学習形態」を協働的な学びと定義付け、3～4人編成のグループ学習を取り入れました。

【協働的な学びの充実】

書いた文章をグループ内で共有し、アドバイスし合う時間を設定しました。表現方法や書きぶりなど、読み手に自分の思いが伝わるか確認し合う姿が多く見られました。

「推しの魅力を紹介する」

今回の学習の大きなテーマは「目的意識」です。自分の「推し」に対する熱い思いを相手に伝える。そのために、どのような表現で文章を書いたらいいのか……子どもたちはこれまでに学んだことを生かしながら、一生懸命学習に取り組んでいました。

「熱い思い」をもつことは本当に大切なことだと思います。4月の研究全体会で、「どうしても、この子たちと研究授業をしたいです!」と熱い思いを語って、授業者に立候補した水村先生。書くことに対して苦手意識をもつ子は少なくないです。しかし、この授業で書くことを諦めた子は一人もいませんでした。その背景には、先生の優しい声掛け、友達同士の支え合い…様々な要因があると思います。水村学級は、昨年も道徳の授業で研究授業を行いました。そのときよりもさら成長した姿が見られ、本当に素晴らしかったです。芝久保小を引っ張っていく6年生。さらなる活躍を期待しています。

次回は、国語科 読むこと分科会の実践を報告します。